

≪ 2019 年度 施設関係者評価 分析 ≫

* 保護者代表である保護者会役員に、アンケートを実施。得点を合計した平均値を関係者評価値とする。(裏面を参照) なお内訳欄は、回答者の内訳を示す。(30 人配布、内 26 人回答)

(平均値 : 小数点以下は切り捨て)

≪ 概要 ≫

・全般的にあまり差がないものの、項目ごとにみると評価の差を感じられる点がいくつか見えてきた。それらの項目は次の通りである。

○園評価と比べ、高評価が多かった項目

・【保健】【安全】【給食・おやつ】

⇒ 感染症の説明や流行状況の掲示 ・ 避難訓練等、月1度の安全活動についての内容発信 ・ 展示食等食についての発信 など、定期的かつ具体的な内容の情報提供により、保護者へ取り組みが伝わりやすかったようだ。

○園評価と比べ、高評価の少なかった項目

・【保育室】

⇒ 発達に合わせた環境構成(変化)の機会の少なさ ・ 子どもの姿と照らし合わせた上での環境構成の意図やねらいの発信が少なく、提供情報量に課題があったと考えられる。

～今後の取り組みとして～

- ・今後も引き続き、展示や掲示・便りを通して取り組みを発信していくと共に、より分かりやすい具体的で関心を持って見たいくなるような情報提供の方法を工夫する。
- ・保育室環境については子どもたちの発達に合わせ、少なくとも学期ごとに見直すようにする。変化させた際にはその都度 “意図・環境構成(変化)の内容” について掲示等を用いて発信し、周知出来るようにする。